

柱の鉄筋に拾った覚えのない鉄筋径が集計されている

部位別集計表などに、拾った覚えのない鉄筋径（特にD10）が集計されていることがあります。原因として、以下のことが考えられます。

（ケース1）基礎柱の仕口部分のフープ筋のが未入力の場合

断面情報

断面寸法 X 1000 × Y 1000

鉄筋情報

フープ筋

部位名称	コンクリート(m ³) (Fo-21)	型枠(m ²) (普通)	鉄筋(t) (SD295A)	(SD945)	計
基礎	20.25	54.00	D10	D25	
基礎大梁					
基礎小梁					
地下壁					
柱	10.98	48.60	0.93	0.85	1.18

*** 1125 ***

（原因と対処）

基礎柱のフープは、下図の割付範囲で算出します。

従って、事実上、すべて仕口となるため、（仕口部）に入力する必要があります。

（入力しなかった時は、初期設定値で算出されるため、D10が算出されることとなります）

基礎柱フープ割付範囲

フープ筋

フープ筋	タイプ	材種	径	@	長さ
(一般部)	外周				
	中子				
(仕口部)	外周	A	13	100	
	中子				

基礎柱のフープ筋は、（仕口部）に入力する

※F6キーを押すと、未入力時の初期設定値が確認できます。

(ケース2) ダイヤフープ筋が自動で算出された場合

断面情報

コン強度: Fc-21
型枠: (普通)
集計部位: (仕口部)
形状: 正方形
柱種別: 一般
トッパ強度: Fc-21

ダイヤフープ筋の種類: A, B, C, D, E, F, G, H, X, Z

鉄筋情報

部位名称	コンクリート(m ³) (Fc-21)	型枠(m ²) (普通)	鉄筋(t) (SD235A)	D10	D13 (SD345)	D25	計
基礎	20.25	54.00					
基礎大梁							
基礎小梁							
地下壁							
柱	82.85	145.80	0.09		1.81	1.71	3.61

拾った覚えのないD10が集計されている

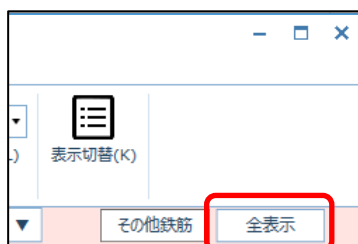
(原因と対処)

計算書で確認すると、ダイヤフープ筋でD10が算出されているのがわかります。

(RC 計算書) *** 1125 *** 2022.11.25 PAGE- 1

階記号	通り名	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	名称	径	鉄筋 (m)
1 C 1	通り名=1 Y1 (Fc-21) 0.9x0.9x3.0x1x1=	1台 2.43	(普通) 3.0x3.0x1x1=	(SD345) 主筋	D25	3.30x8x1x1= 26.40
				圧接	D25-D25	1x8x1x1= 8.00
				フープ筋	D13	3.60x21x1x1= 111.60
				ダイヤフープ筋	D10	1.27x2x7x1= 17.82

①柱リスト画面右上の「全表示」ボタンをクリックします。



②ダイヤフープ筋の入力欄が表示されます。



③ F6キーを押して、未入力時の既定値を表示します。

鉄筋情報					
フープ筋	タイプ	材種	径	@	長さ
(一般部) 外周	A	3 SD295A	10	100	
中子					
(仕口部) 外周	A	3 SD295A	13	100	
中子					
タイプ 径 @ 長さ					
ダイヤフープ筋	A	10	500		
スパイラルフープ筋					

④ ダイヤフープが不要であれば、その指示をします。

The screenshot shows the 'Section Information' (断面情報) panel with a 900x900mm section and 'C Fe-21' concrete strength. The 'Reinforcement Information' (鉄筋情報) panel shows the 'Reinforcement Type' (フープ) selection grid where the 'X' option (None) is selected. A red arrow points from the 'X' option in the grid to the 'X' type in the 'Reinforcement Information' table below.

※規定値の方を変更したい場合

柱基準の画面で変更すると、この物件に対してのみ既定値が変更できます。

The screenshot shows the 'Column Standard' (柱基準) menu with options for 'Column' (柱), 'Beam' (梁), 'Slab' (床), and 'Wall' (壁). The 'Column' (柱) option is highlighted with a red box.

The screenshot shows the 'Column Standard' (柱基準) configuration screen. The 'Reinforcement Standard Value' (フープ筋基準値) table is highlighted with a red box, showing default values for 'General' (一般) and 'Finish' (仕口) types. The 'Diamond Hoop' (ダイヤフープ筋) table is also highlighted with a red box, showing a default value for 'General' (一般) type.

タイプ	径	ピッチ
一般	A	100 mm
仕口	A	150 mm

タイプ	径	ピッチ
一般	A	500 mm